

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
現代社会	2単位(全類)	1年・全類	必修
授業担当者		教科書名	副教材等
山本 実広・森田琢朗・佐々木康次		新現代社会 (帝国書院)	随時プリントを用意

<p>科目の到達目標</p> <p>民主政治や日本国憲法、日本の政治機構について理解を深め、良識ある公民としての必要な能力と態度を育てる。</p>

<p>評価の観点と方法について</p> <p>各単元目標が理解できているかどうかを中心に年間3回の定期考査を実施し、必要に応じて課題を出して提出させる。評価については、定期考査に加えて、授業中の発問や作業への取り組み方などから態度・興味・関心・意欲・集中力を評価として加え、総合的に判断する。</p>
--

	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一 学 期	4 ○現代の民主政治と 民主社会の倫理	民主政治の原理について、歴史的経緯も合わせて理解させる。	① 民主政治の基本原理 ② 法の支配と法の意義・ 役割 ③ 民主政治のしくみと課題	授業中の関心・ 意欲・態度
	5 ○日本国憲法	日本国憲法の成立過程とその性格・特徴を理解させる。また、新しい人権や今日の防衛問題についても考察する。	④ 世界の主な政治制度 ① 日本国憲法の制定 ② 自由に生きる権利 ③ 平等に生きる権利	
	6 7		④ 社会権と参政権・請求権 ⑤ 人権のひろがりと 公共の福祉	ノート提出 期末考査

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	○日本の政治機構と 政治参加	日本の政治機構につ いて理解を深め、実情 と課題について考察 する。	① 政治機構と国会	授業中の関心・意 欲・態度
	10			② 行政権と行政機能の拡大 ③ 公正な裁判の保障 ④ 地方自治と住民福祉 ⑤ 政党政治と選挙制度 ⑥日本の防衛政策	
	11	○国際政治の動向と 平和の追求	国際政治についての 理解を深め、国際化の 進行の中での日本の 役割と課題を考える。	① 国際政治の特質 ② 国際連合と国際協力 ③ 第二次世界大戦後の 国際政治 ④ 人種・民族問題 ⑤ 軍拡競争から軍縮へ ⑥ 国際平和と日本の役割	
	12				ノート提出 期末試験
三 学 期	1	○現代の社会と 自己実現	自らのあり方・生き方 について主体的に考 えさせる。その導入と して、できるだけ生徒 の身近なところから 題材を見つける。	① 青年期とは ② 自己形成の課題	授業中の関心・意 欲・態度
	2				
	3	○よく生きるとは		① 哲学・宗教・科学と人間 ② 自由と幸福 ③ 他者の尊重	

その他（履修上の留意点・大学進学等のための学習など）

- ・期末考査のみの実施である。
- ・センター受験等については個別に対応する。